

エッセー 自然が育む力

流れ星を見たことはありますか？ 夜に外を歩きたがら、ふと見上げた空に流れ星が流れたとき、何とも言えないうれしさを感じるものです。

この但馬では星が普通に輝いている夜空ですが、地元に住んでいると、その素晴らしさを意外と認識していないものです。

都市部では住宅地であつても遠くのネオンや街灯、車のライトなどで空が白くすんでおり、とても流れ星が見える状況ではありません。

美方高原自然の家を訪れた都市部の方々に一番印象に残ったことを聞くと、必ず星空のきれいさを挙げます。最近では生活様式も情報量も都市と田

舎は変わらなくなりまして、この星空こそ最も誇れる、ひよっとすると

星空は最高の宝物

流れ星を探そう

但馬として最も原生的な自然領域なのではないでしょうか。ぜひ但馬に住む子どもたちには、流れ星が流れる瞬間の記憶を目に焼き付けてほしいと考えています。

ただ「星のことあまり知らないし」とか「5分も見たら飽きてしまふ」と考えていませんか？ 子どもに理科の授業をするわけではないので、星座を知らなくても、望遠

鏡などの道具がなくても大丈夫です。

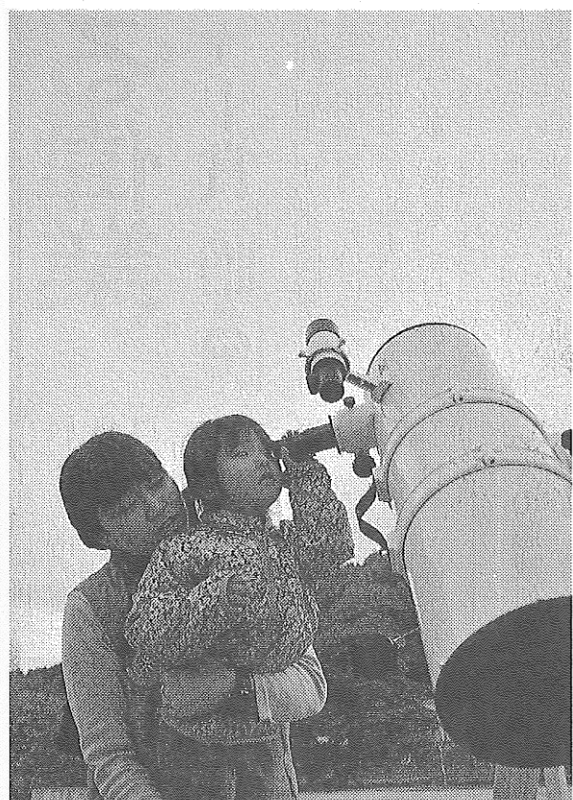
次に挙げる三つのポイントをぜひお試しください。

- ①暗闇に目を慣らす
(人の目は闇に目が慣れるのに5分ぐらいかかります。なるべく明かりを
- ②暗い星を数えてみる
(1等星と呼ばれる明るい星を数えているうちに、その間にある暗い星にも気が始まります)。
- ③流れ星を見るまで粘る
(いつでも10分につ

ぐらいは流れます。ぽつと星空全体を見上げましょう。地面に座れば首が疲れません。

もし流れ星が見えなくても、おしゃべりしながら子どもと一緒に夜空を見上げる時間そのものがとても大切な時間でもあります。星空と星座のよ

うに、心の広がりとながりを感ぜてもらえれば最高です。



美方高原の星空出前教室で望遠鏡を初めてのぞく子ども

(尼崎市立美方高原自然の家所長 田中誉人)